



関西広域連合
UNION OF KANSAI GOVERNMENTS

関西広域産業ビジョン (2023年改訂版)

【素案】

2023年11月

関西広域連合
広域産業振興局

【関西広域産業ビジョンとは】

関西経済の活性化に向けて、関西広域連合がもとより、構成府縣市、国、経済団体、企業、学術界、その他関係主体が密接な連携を行いながら、関西が一体となって取り組む行動指針

もくじ	Page
■ ビジョンとは	1
■ 現状分析・将来展望	2
■ めざす将来像・目標	3
■ 将来像の実現・目標の達成に向けたアプローチ	4
関西チャレンジ①「強みで貢献」	5
関西チャレンジ②「強みを活用」	7
関西チャレンジ③「強みを発揮」	9
■ 関西広域連合による取組み	11

現状分析・将来展望

◆ 関西経済の将来を見通す上で押さえておく主なトレンド (グローバルな動き)

(国内の動き)

■ 気候変動、地球環境問題

▶ 地球温暖化

・パリ協定採択(2015)

「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2°Cより十分低く保つとともに、1.5°Cに抑える努力を追求すること」

「今世紀後半には、温室効果ガスの人為的な排出と吸収源による除去の均衡を達成するよう、排出ピークをできるだけ早期に迎え、最新の科学に従って急激に削減すること」

▶ 環境汚染 (マイクロプラスチック)

・国連環境総会 (UNEA-5.2) で

「プラスチック条約」取りまとめに向けた交渉開始合意(2022)

・G7気候・エネルギー・環境大臣会合で

「2040年までに追加的なプラスチック汚染をゼロにする野心」合意(2023)

▶ 生物多様性の保全と持続的な利用

・昆明・モントリオール生物多様性枠組採択(2022)

▶ 地球温暖化

・「2050年カーボンニュートラル宣言」(2020)

・「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」(2020)

・「2050年カーボンニュートラルと総合的で野心的な目標として、2030年度に温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指すこと」を表明(2021)

▶ 環境汚染 (マイクロプラスチック)

・プラスチック製レジ袋有料化(2020)

・プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律施行(2022)

▶ 生物多様性の保全と持続的な利用

・「生物多様性国家戦略2023-2030」(2023)

■ 社会構造(人口動態)

・世界人口は80億人に到達

[2011年：70億人、2037年：90億人に] (国連、2022)

－ アフリカ、アジアで増加、インドが人口世界一に

(先進国の経済力・規模が相対的に低下、グローバルサウスの台頭)

－ 長寿化、妊産婦と幼児死亡率の低下など

－ 10人に7人が都市部に居住 (急速・無秩序な流入)

・日本人口は1億2449万人：2011年以降11年連続で減少傾向(2023)

・少子化：合計特殊出生率1.26、7年連続低下(2022)

・高齢化率：29.0%(2022)、2040年には約35%に

・生産年齢人口：20年間で1,478万人(約2割)減少

－ 約7,406人(2020) → 約5,978万人(2040)

・働き方改革推進法成立(2018)

◆ ESG投資、SDGs

・2006年、国連の支援のもと、責任投資原則 (PRI) が発足し、投資家が投資先に対してESG (環境・社会・ガバナンス) への配慮を求める動きが拡大

・2015年、国連サミットで「SDGs (持続可能な開発目標)」が採択

・2021年、PRIの署名機関数は3826機関、署名機関の運用資産総額は約121兆ドル

■ 技術革新、DX(デジタル活用)、生産性

・先端技術 (注) を扱う世界市場：1兆5,000億ドル(2020)から9兆5,000億ドル超(2030)へと拡大 (国連貿易開発会議(UNCTAD)技術・イノベーション報告書,2023)

(注) 先端技術

AI、IoT、ビッグデータ、ブロックチェーン、5G、3Dプリンター、ロボット工学、ドローン、遺伝子編集、ナノテクノロジー、太陽光発電、集光型太陽光発電 (CSP)、バイオ燃料、バイオマス・バイオガス、風力発電、グリーン水素、電気自動車

・DXの世界市場は、6,955億米ドル(2023)から、24.1%のCAGRで、3兆1,449億米ドル(2030)の規模に成長(MarketsandMarkets, 2023)

・「2025年の崖」 「企業がレガシーシステムを抱えたままである場合、2025年～2030年にかけての年間最大経済損失は12兆円」(経済産業省「DXレポート」、2018)

・コロナ禍でデジタル活用加速 (テレワーク、オンライン、非接触) (2019-)

・デジタル田園都市国家構想(2021)

・「世界デジタル競争力ランキング」63か国中29位

(スイス国際経営開発研究所 (IMD)、2022)

・「労働生産性の国際比較 2022」(公益財団法人 日本生産性本部)

－ 時間当たり労働生産性：OECD加盟38カ国中27位

－ 就業者一人当たり労働生産性：OECD加盟38カ国中29位

■ 不確実性(感染症リスク、地政学的リスク)

・新型コロナウイルス感染症

－ 経済活動の停滞 (2020年の成長率▲4.9%、IMF)

－ バイオ・ベンチャーによる革新的ワクチン開発 (mRNA)

・ロシアによるウクライナ侵攻・長期化(2022-)

・米中経済デカップリング (ブロック化)

米：TPP11離脱、RCEP未加入、IPEF立上げ、IRA法成立(2022)

中：TPP11加入申請、RCEP

・コロナ禍、実質GDPが過去最大のマイナス成長率を記録(2020)

－ インバウンド消失、消費抑制 (移動、外出制限、営業自粛)

－ サプライチェーンの分断、生産・流通停滞

・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の「5類」移行(2023)

・TPP11発効(2018)、RCEP協定発効(2022)、IPEF参加(2022)

・経済安全保障推進法成立(2022)

◆ 基本姿勢

(めざす方向性)

気候変動、地球環境問題の解決は、これまでの社会経済活動、それを支える産業のあり方を根本から変革しなければ到底実現できない。

⇒ **技術革新、イノベーションにより、その解決への貢献と成長の両立をめざす**

あらゆるステークホルダーが、世界共通の課題にコミットし、それぞれの立場で責任を全うする。

⇒ **産業活動は、脱炭素、脱プラスチック、ネイチャーポジティブ (自然再興) を実践・追求し、サーキュラーエコノミー (循環社会) の実現をめざす**

グローバルな人口増加は、食料、エネルギー、資源、自然など、地球環境への負荷を拡大。また、急激な増加は、衛生や健康上の課題をも惹起。

⇒ **課題先進国・日本の技術、ノウハウ、スキルを展開し、解決への貢献と成長をめざす**

国内の人口減少は進み、消費の点では、経済規模 (マーケット) は縮小。少子高齢化の進展、生産年齢人口の減少 (労働力不足)。人口構造の変化のみならず、コロナ禍を経験し、生活様式も変容。デジタル活用も進展し、市場ニーズも多様化。

⇒ **これまでの考え方や価値観にとらわれない、高付加価値化、競争力強化・生産性向上(働き方、人材活用)をめざす**

VUCA (先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態) の時代と言われる中にあるのは、状況の変化の兆しを察知し、即応することが重要。

⇒ **多様性、迅速性、柔軟性、強靭性を兼ね備えた産業構造への移行をめざす**

めざす将来像・目標

- 2040年度での実現をめざす「2つの将来像」（定性目標）と「数値目標」（定量目標）について、現状分析、将来展望を踏まえ、アップデートする

【2つの将来像】

世界の中で輝き、日本の未来を牽引する関西

- 将来を予測することが困難な社会経済情勢の中、これまでの延長線上での思考や行動では持続可能な成長を成し遂げることができない。野心的な目標を掲げ、関西が誇る強み、ポテンシャルを生かし、継続して「チャレンジ」することで、イノベーションと新たな価値を創出していくことが必要である。
- そのため、まずは、「2025年大阪・関西万博」の成功に向け、関西一丸となって貢献する。万博開催のインパクトを活用し、関西の強み・ポテンシャルを内外に発信し、存在感を示す。また、開催地メリットを活かし、関西の着実な成長に道筋をつける。こうしたことを通じ、我が国の未来を先導することをめざす。

産業を支える多様な人材が活躍する関西

- 先を見通しにくい世の中での不連続で劇的な変化にも柔軟に対応し、関西経済が持続的な成長を成し遂げていくには、多様なバックグラウンド、価値観の人材が必要不可欠である。
- 変革を生み出すチャレンジをめざす人材を惹きつけるためには、関西の産業魅力を発信し、また、ライフスタイルに応じた多様な働き方ができる環境づくりを進め、多様な人材が活躍できる好循環の確立をめざす。

【数値目標】

関西（広域経済圏*）の経済、産業の国内シェアを25%、GRP額を約150兆円

*「関西（広域経済圏）」とは、関西広域連合構成府県市に、連携団体に指定している福井県、三重県を加えたもの。

- 前回改訂以降、感染症の拡大や緊迫する海外情勢など成長に水を差す状況はあるものの、関西の将来に大きなインパクトをもたらす2025年大阪・関西万博の開催を控え、今まさに関西経済は変革の途上にあり、今後の成長に大いなるポテンシャルを秘めている。
- こうしたことを踏まえ、数値目標のうち、経済、産業の国内シェアについては、引き続き25%をめざす。
- なお、GRP額については、2040年度の我が国のGDP推計値の下方修正に連動して、約150兆円とする。
～ 594.7兆円（2040年度のGDP推計値）× 25%（シェア目標値）＝ 148.7兆円 ≒ 約150兆円

将来像の実現・目標の達成に向けたアプローチ

- 「2つの将来像」の実現と「数値目標」の達成に向けた、アプローチ（基本的な方向性）を整理する。

めざす姿	成し遂げたい関西のチャレンジ	チャレンジのキーワード、キーアクション	
<p>新産業の創出・確立</p>	<p>関西チャレンジ①</p> <p>「強みで貢献」</p> <p>世界共通の課題解決に貢献する、 関西の代名詞となりうる産業の 確立</p>	<p>2025年大阪・関西万博 関西広域連合「関西パビリオン」を ゲートウェイとした発信・誘客</p> <p>スタートアップ イノベーションをリードする、新進 気鋭のスタートアップが集積</p> <p>産業クラスター 様々なプレイヤーとの協業・共創</p>	<p>万博のインパクトを活かした様々な機会創出</p> <p>どこよりも新たなチャレンジがしやすい、魅力的なスタートアップエコシステムの確立</p> <p>大学等と連携したチャレンジ精神にあふれる起業家育成（アントレプレナーシップ教育）</p> <p>クラスターのビジョン、取組み、実績をアピールし、共感を生み、さらなるプレイヤー（チャレンジャー）を呼び込む好循環</p>
×	<p>関西チャレンジ②</p> <p>「強みを活用」</p> <p>現状維持を超え、高付加価値化 （新展開、深化）による持続的 成長</p>	<p>進取の気性 常識にとらわれないチャレンジ</p> <p>コアコンピタンス 関西のオリジナリティ（強み、 ポテンシャル）を活用・発展</p> <p>オープンイノベーション フルセット主義、自前主義から 脱皮し、迅速かつ効率的に 新たな価値を創造</p>	<p>世界で一目置かれる関西の強み（成長のけん引役）を確立</p> <p>産学官の多様なプレイヤー（チャレンジャー）が交流し、化学反応を生み出す機会と場の提供</p> <p>様々なチャレンジを支える産学官プラットフォーム機能</p> <p>プレイヤー（チャレンジャー）のニーズに最適な実証フィールドの提供</p>
×	<p>関西チャレンジ③</p> <p>「強みを発揮」</p> <p>競争力強化と魅力向上による成 長の好循環を通じた、強みの 脈々たる発揮</p>	<p>レジリエンス 予見できない様々な変化の中 にもチャンスを見出すしたた かさ、しなやかさ</p> <p>ケイパビリティ グローバルスタンダードなどにもし かり対応した競争力を備えた産 業構造の構築</p>	<p>各地域特有の資源の多様性を魅力として活かしたプロモーション</p> <p>市場としてのインバウンドへのさらなる訴求</p> <p>6次産業化など、より強い産業へのチャレンジ</p> <p>サプライチェーン（取引先）、働き手に選ばれる企業経営</p> <p>リスクリングによる産業人材のアップグレード</p> <p>生産者目線ではなく、ユーザー目線のDX・CXの推進</p>

1 世界共通の課題解決に貢献する、関西の代名詞となりうる産業の確立

- ◆ 関西が優位性を持つ分野でのチャレンジにより、世界共通の課題解決に貢献するイノベーションを創出
- ◆ 地域がもつ優れた技術等も結集し、ビジネスエコシステムを構築することで、新たな産業として確立
- ◆ こうしたビジネス環境を求心力に、国内外からの新たな集積が加速し、さらなるチャレンジの連続を通じた成長を実現

A 新産業のビジネスエコシステム確立

【取組アイデア】

関西としての強み、ポテンシャル等を、万博とも連動しながら、国内外へ発信し、認知度向上

万博を契機とした新たな流れ、仕組み、仕掛けの継承（発展、成長）

根気強く関西での取組みや実績を積極的に発信し、関西がオープンイノベーションの協業先候補として台頭

域内の拠点・地域の特長を生かした野心的なチャレンジが、新たなチャレンジャーの参画を誘発

チャレンジを強力に後押しする関西の風土・文化・気質をベースに、ヒト、モノ、投資等を含めた環境の整備

域内の多様な産業集積を活かしたビジネスエコシステムの構築

関西の成長をけん引する、すそ野の広い新たな産業の確立

● 関西が強みとする分野における産業化推進

（ライフサイエンス、ヘルスケア）

- ・ 域内のリソース集積地（拠点）の特色、強みの磨き上げ
- ・ 拠点間連携による関西一丸としての魅力、ポテンシャルの発信
- ・ 万博を契機に、関西を代表するMICEの開催（レガシー）

（グリーンイノベーション、カーボンニュートラル）

- ・ 関西発のカーボンニュートラルに貢献する技術、サービスの開発
- ・ 関西のリソース集積を活かした、成長分野を支える蓄電池人材の育成（コンソーシアム）
- ・ 産学官連携による水素サプライチェーンモデルの構築

● 世界と伍するスタートアップ・エコシステムの形成

- ・ 他エリアとの差別化、リソースの集積を可能とするブランド「ディーブテックバレー-KANSAI」の確立
- ・ 万博を機に、関西オリジナルのスタートアップ創出・成長支援イベントの開催
- ・ チャレンジを支える、オール関西でのコミュニティの形成

など

1 世界共通の課題解決に貢献する、関西の代名詞となりうる産業の確立

- ◆ 関西が優位性を持つ分野でのチャレンジにより、世界共通の課題解決に貢献するイノベーションを創出
- ◆ 地域がもつ優れた技術等も結集し、ビジネスエコシステムを構築することで、新たな産業として確立
- ◆ こうしたビジネス環境を求心力に、国内外からの新たな集積が加速し、さらなるチャレンジの連続を通じた成長を実現

B これまでの延長線上の取組みを超えたソリューションを創出するチャレンジ

【取組アイデア】

中長期的な視点に立ち、世界の課題解決に向け、これまでにない新たな価値創造で貢献
特に、「未来社会の実験場」をコンセプトとする万博を足掛かりに、黎明期にある成長可能性を秘めた分野への果敢なチャレンジ

● 万博開催時をマイルストーンに社会実装に向けたチャレンジ

(MaaS)

- ・ 公共交通機関が発達し、多くの事業者が存在する都市型MaaS実現へのチャレンジ（交通渋滞緩和、Co2排出量削減など）
- ・ 自動運転サービスの実用化などに向けたチャレンジ（地域活性化、交通弱者の移動支援）
- ・ 上記チャレンジを強力に支える、オープンイノベーション促進、実証フィールド提供、事業化支援、規制緩和

(空飛ぶクルマ)

- ・ 世界に先んじた万博での商用運航実現へのチャレンジ
- ・ 空飛ぶクルマを前提とした新たなサービスの創出等の都市型ビジネス実現に向けたチャレンジ
- ・ 上記チャレンジを強力に支える、オープンイノベーション促進、実証フィールド提供、事業化支援、規制緩和

● 地域のポテンシャルを活かしたチャレンジ

(宇宙)

- ・ 地理的特性等を活かした実証フィールドの提供
- ・ 地域活性化の取組みと連動した、チャレンジ人材の呼び込み（産業集積、クラスター化）
- ・ 上記チャレンジを強力に支える、オープンイノベーション促進、事業化支援、人材育成

など

2 現状維持を超え、高付加価値化（新展開、深化）による持続的成長

- ◆ 世の中の急激な変化にチャンスを見出し、また、変化の中で多様化するニーズを把握
- ◆ 関西の強みやポテンシャルを活かした新たな展開にチャレンジし、これまでにない価値を提案・提供
- ◆ 関西の強みやポテンシャルを研ぎ澄まし、より浸透を図ることで持続的成長を実現

A 関西の強みを活用・応用し、時代が求める新たな価値を創出

【取組アイデア】

現時点で確立しているポジションに甘んじることなく、強みを活かして、複雑・多様化する社会課題解決に貢献
域内の様々なプレイヤーの特長・強みの掛け合わせにより、これまでにない価値提供を迅速に実現（持続的成長）

● 社会課題の解決に貢献する新たな価値創造

- ・ 複雑化する課題解決をめざし、多様なプレイヤーとの交流・協業
- ・ それぞれの強みの掛け合わせによる関西発のイノベーション創出
- ・ イノベーション創出を支える産学官民のネットワーク
- ・ 業界一丸となつての構造転換（環境負荷低減）
- ・ 既存産業の事業継承の機をとらえた方針転換（第二創業）

● 域内リソースの有効活用による、時代の変化のスピードに対応した迅速なチャレンジ

- ・ 工業系公設試験研究機関の専門性、ノウハウ等の域内最適化（相互補完、共同化）
- ・ 域内公設試験研究機関、大学、企業等の連携によるイノベーション（得意分野の持ち寄り）
- ・ 実証フィールドを活用した、最新の研究や知見に基づくエビデンスの確立（信頼性向上、新たな価値提供）
- ・ 農林水産分野の生産活動に、域内の多様なプレイヤーとの連携による、加工や販売、体験型観光など、付加価値を高める6次産業化

● 多様なニーズに対応した新たな価値の提供

- ・ 域内各地の伝統産業・地場産業の特長、強みを極限化（徹底した差別化）
- ・ それぞれ魅力ある地域の産品を、組み合わせて新たなライフスタイル等を提案
- ・ 個性豊かな地域の産品の機能・品質を保持しながら、これまで接点のない顧客等にも訴求するデザイン性向上による価値提案
- ・ デジタル活用でこれまでにない価値を提供（データ活用によるパーソナライズ等）

など

2 現状維持を超え、高付加価値化（新展開、深化）による持続的成長

- ◆ 世の中の急激な変化にチャンスを見出し、また、変化の中で多様化するニーズを把握
- ◆ 関西の強みやポテンシャルを活かした新たな展開にチャレンジし、これまでにない価値を提案・提供
- ◆ 関西の強みやポテンシャルを研ぎ澄まし、より浸透を図ることで持続的成長を実現

B 関西が誇る技術、プロダクトを、より多く、より広く、より深く提供

【取組アイデア】

「技術・プロダクトありき」ではなく、それを使って、課題解決や欲求充足したいユーザーの多様なニーズに対応
ユーザーとの関係を再定義する中で、創意工夫を凝らし、関西の技術、プロダクトによる新たな価値提供

- デジタル活用による生産性の向上（DX）
 - ・ 生産工程の自動化・省人化
 - ・ サプライチェーンの最適化、物流効率化
 - ・ 需要予測の高度化、生産計画の最適化
 - ・ 顧客ニーズの把握、分析による商品・サービス開発
- 新市場開拓、新顧客獲得
 - ・ 固定観念にとらわれない既存製品、商品、サービスの新たな用途開発、価値創造（イノベーション、コラボレーション）
 - ・ 顧客範囲の拡張（潜在ニーズの発掘）
 - ・ 地理的拡大（これまで展開していないエリア、地域、国等への進出）
 - ・ 空間・時間的拡大（デジタル活用、EC、仮想空間等への進出、リアルとデジタルのハイブリッドな体験の提供）
- プロモーション強化
 - ・ 製品、商品、サービスの強みの深堀り、明確化（訴求効果の最大化）
 - ・ コアユーザーとの緊密なコミュニケーション（ロイヤリティ向上、ファン化、インフルエンサー化）
- ニーズの多様化等への対応（殻破りの視点・着想）
 - ・ 非所有（状況に応じた利用）：柔軟なユーザー本位のサービス化
 - ・ カスタマイズ（パーソナライズ）：ユーザーニーズ起点のサービス化
 - ・ 希少性（付加価値の向上）：産地限定、厳選素材、名工の逸品、会員限定、期間限定

3 競争力強化と魅力向上による成長の好循環を通じた、強みの脈々たる発揮

- ◆ SDGs、脱炭素(GX)をはじめとしたビジネス・グローバルスタンダードに迅速・的確に対応し、関西産業の基盤を強化
- ◆ 多様な人材（個性）の集積・掛け合わせが新たな価値を創出し、関西産業の競争力を強化
- ◆ それが関西産業の魅力を高め、さらなる人材を惹きつける、成長の好循環となり、関西産業の強みを脈々と発揮

A 世界の時流をとらえ、変化に柔軟に対応できる産業OSのアップグレード

【取組アイデア】

社会経済情勢等の変化を、あらゆる角度から死角なく捉えることができるダイバーシティの確保
変化の影響を迅速に見極め、新たなチャレンジを繰り返しながら、失敗からの学びを通じたレベルアップ（持続的成長）

● 経営方針（視点）

- ・ 将来を見据えた企業の存在意義の明確化
- ・ 社会的価値の向上（SDGs、GX等）と従業員の満足度向上の両立
- ・ 時代の変化を察知し、影響やポイントをつかむ感度のアップ
- ・ 実績や既成概念にとらわれず、状況に応じて柔軟に対応できる組織力
- ・ 個人（多様なバックボーン、価値観、経験、スキル等）を活かす経営
- ・ デジタル活用の持続的推進（人材育成・確保、推進体制整備、風土醸成等）
- ・ チャレンジを推奨し、失敗を許容する文化
- ・ 積極的な情報開示（ステークホルダー等との信頼性確保）

● デジタル活用を前提としたビジネススタイルへの転換

- ・ 新たなビジネスモデルの創出（デジタル活用で実現したいこと、提供したい価値等の明確化）
- ・ 業務プロセスの改善（業務の効率化、コスト削減等の生産性・競争力の維持・向上）
- ・ 顧客接点のデジタル化（デジタルネイティブ時代の標準、デジタルツールによるコミュニケーションの円滑化）

● 新たなチャレンジをしやすい環境の整備、仕組みの構築

- ・ 情報共有と協業（コラボレーション）を促進する仕組み（ネットワーク、コミュニティ）
- ・ チャレンジに最適な実証フィールドの提供（多様な地域の特性や資源を有効活用）
- ・ チャレンジを後押しする制度・仕組み（兼業・副業制度）

など

3 競争力強化と魅力向上による成長の好循環を通じた、強みの脈々たる発揮

- ◆ SDGs、脱炭素(GX)をはじめとしたビジネス・グローバルスタンダードに迅速・的確に対応し、関西産業の基盤を強化
- ◆ 多様な人材（個性）の集積・掛け合わせが新たな価値を創出し、関西産業の競争力を強化
- ◆ それが関西産業の魅力を高め、さらなる人材を惹きつける、成長の好循環となり、関西産業の強みを脈々と発揮

B 産業を支えるチャレンジ人材を惹きつける、多様な価値観、生活スタイルに応じた柔軟な働き方の実現

【取組アイデア】

新しいことに果敢にチャレンジし、イノベーションを成し遂げていく関西
「チャレンジしやすさ」と「暮らしやすさ」の両立により、チャレンジ人材が集まり、活躍する関西の実現

- チャレンジ人材の育成・呼び込みを可能とする関西人材エコシステムの構築
 - ・ 関西の多様な大学が核となった、それぞれの強みやネットワーク等の活用
 - ・ 実業と連携した、学びから実践までの一貫プログラム
 - ・ 各プログラムの連携・相互補完（チャレンジ人材のステップアップサポート）
- 国内外からチャレンジ人材を惹きつけ、挑戦意欲を掻き立てる仕掛けづくり
 - ・ 世界有数の研究機関、大学、企業等とのオープンイノベーションの魅力・ポテンシャルの発信
 - ・ 新たなチャレンジ内容の希望に応えるオーダーメイド型実験フィールドの提供（チャレンジフィールド関西）
 - ・ 関西発のチャレンジの取組みの見える化
 - ・ 失敗を次の糧とするマインドの醸成・浸透（関西気質）
- 多様な価値観、生活スタイルに応じた働き方が自由に選択できる環境の提供
 - ・ 関西全体で地域特性を活かした多様な働き方を提供（あらゆるニーズに対応）
 - ・ デジタル技術も活用し、場所や形態にとらわれない、個性豊かな働き方の実現
 - ・ 興味関心に応じ、能力やスキルを磨く機会の提供
 - ・ 関西の魅力を存分に楽しみながら、ワークライフバランスが実現できる働き方の提案 など

関西広域連合による取組み

関西広域連合は、固有の4つのバリュー(存在価値)を発揮し、関西産業の成長に資する取組みを実施する

● スケールメリット(規模の経済、域内最適化)

構成府県(市)が同じ目的をめざす取組みを、関西広域連合が集約し一元的に実施することで効率・効果を高める

×

● シナジー(協働、相乗、相互補完)

構成府県市のそれぞれの強み・得意分野などを、関西広域連合域内で掛け合わせることで、単独実施以上の効果を生み出す

×

● スピルオーバー(波及、浸透)

構成府県市の独自の取組みを、関西広域連合域内で共有し、共感をひろげ、取組みを水平展開することで広い効果をめざす

×

● ダイバーシティ(多様性、地域特性)

構成府県市の個性、特性を、関西広域連合として重ね合わせることで、その良さを際立たせ、また個性の集合体としての多彩な魅力を発信する

(参考)

令和5年度事業《予算額：55,969千円》

- ◇関西スタートアップのポテンシャルの発信強化 (13,043千円)
- ◇ライフサイエンス分野における関西のポテンシャルの発信・強化 (1,339千円)
- ◇医療機器分野への参入に向けた医療機器相談の実施 (2,224千円)
- ◇「カーボンニュートラル研究成果事業化促進フォーラム」の実施 (1,780千円)
- ◇関西広域産業共創プラットフォーム事業の推進 (22,634千円)
- ◇関西プラスチックごみゼロ推進事業 (500千円)
- ◇ものづくりをはじめとする地域魅力の発信 (8,141千円)
- ◇人材確保・育成に関するセミナー開催 (282千円)
- ◇広報活動の実施 (1,991千円)
- ◇ビジネス情報紙「from NOW ON KANSAI」の発行等 (1,801千円)
- ◇各種セミナーの開催 (999千円)